

令和7年度 第3回 県立広島大学宮島学センター公開講座

戦国期における厳島社の造営—大願寺道本の活動—

戦国時代、厳島社の社殿や島内の社寺の修理・造営は、大願寺が担っていました。この講座では、大願寺道本が大内氏や厳島神主家の支援を受けて行った厳島社や五重塔等の修理、多宝塔の再興などについて考えます。

■ 日 時： 令和8年2月18日（水）14:30～16:00（受付開始 14:00）

■ 会 場： etto 宮島交流館
(宮島まちづくり交流センター、廿日市市宮島町412)

■ 講 師： 県立広島大学 地域基盤研究機構宮島学センター
特任講師 大知 徳子

■ 受 講 料： 無 料

■ 募集人数： 50人

■ 申込方法：

往復はがきの往信裏面に①名前、②ふりがな、③郵便番号、④住所、⑤電話番号を、返信表面に受講される方の名前と住所をご記入の上、下の申込先に郵送してください。

往復はがき1枚につきお一人のお申込でお願いします。申込者多数の場合は抽選とします。あらかじめご了承ください。申込締切日以降に返信はがきで受講の可否をお知らせします。

■ 申込締切： 令和8年2月3日（火）必着

■ 申込・問合先：

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1-71
県立広島大学宮島学センター 公開講座③係
TEL082-251-9534（地域連携センター内）

■ 主 催： 県立広島大学 宮島学センター／廿日市市教育委員会

■ 共 催： 宮島まちづくり交流センター